2017.02 / Vol. 31 / Soccer Journal

デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

フォルトゥナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

後半戦は黒星スタートに。

RÜCKRUNDE STARTET MIT ZWEI NIEDERLAGEN

テレコムカップ2017

TELEKOM CUP 2017

選手インタビュー ロビン・ボアムート

INTERVIEW MIT ROBIN BORMUTH

橋本峻弥がU23に新加入！！

SHUNYA HASHIMOTO VERSTÄRKT U23-TEAM

premiumPARTNER
全ての走りに、驚きを。
PROXES Sport
TOYO TIRESのモノづくりは
いつでも「驚き」を追い求めています。
驚いて笑い、驚いて泣き、驚いて喜ぶ。
人の心を動かす「驚き」がなければ、
ドライバーの想いに応えるタイヤは作れないと
考えているからです。
ユニークな発想力と革新の技術力で、
世に出してはじめて、欲しかったことがわかるタイヤを。
誰も想像しなかった、常識を覆す性能のタイヤを。
私たちTOYO TIRESは自問し続けます。
SURPRISING THE WORLD
www.toyo.de | /ToyoTireDeutschland
TOYO TIRES
driven to perform

親愛なる日本人社会の皆さまへ

Liebe japanische Gemeinde,

フォルトゥナ・デュッセルドルフ レジェンド選手　ゲルト・ツェヴェ

Gerd Zewe, Fortunas Ehrenspielführer

私はかつて、7年間に渡ってデュッセルドルフ日本人学校で、子供たちにサッカーを教えていました。日本人の子供たちは非常に礼儀正しく、常に真剣に練習に取り組み、サッカーを上達させるために一生懸命トレーニングしてくれていました。常日頃からそれを非常に嬉しく思っていましたし、教えている側の私にとっても、彼らと関わることは大きな喜びでした。ドイツ語がほとんど喋れない日本人が多かったですが、それでも先生方も非常に好意的に接してくれましたし、いろいろな学校行事にも招待してもらったことをよく覚えています。私は今も近所に住んでいるので、運動会などには今でも遊びに行かせてもらっていますが、そういう関係が続いていることを誇りに思っています。

現在のフォルトゥナには多くの若い日本人選手が所属しており、誰もがトップチームで活躍することを目標に頑張っています。この冬には多くの日本人が暮らすオーバーカッセルのクラブでプレーしていた橋本峻弥が、U23チームに新加入することになりましたが、日本人の皆さんには、そういう若い選手たちが日々切磋琢磨していることをもっと知っていただき、そして応援していただければなと思っています。ドイツ全土に目をやれば、多くの素晴らしい日本人選手たちが活躍をしています。フォルトゥナにもそういった日本人選手が現れてくれれば、皆さんにとっても大きな喜びになるでしょうし、彼らがそういう存在に成長してくれることを願っています。

今シーズンにも多くの日系企業の皆さんにサポートをいただいていますが、これからももっと日本社会の皆さんとの関係をより良いものにし、そしてフォルトゥナがより身近な存在になればいいなと思います。我々のホームスタジアムで、より多くの日本人サポーターの姿が見られることを楽しみにしていますので、是非フォルトゥナの試合を訪れていただければ幸いです。

Impressum

Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH

後半戦は黒星スタートに。

Rückrunde startet mit zwei Niederlagen

マルタキャンプ、テレコムカップを経て2016/17シーズンの後半戦を迎えたフォルトゥナは、ホームでSVザントハウゼン(0-3)と、またアウェーでVfBシュツットガルト(0-2)と対戦したが、どちらも得点を奪うことができないまま、後期は連敗スタートとなってしまった。

後半戦最初となったSVザントハウゼン戦では、負傷から復帰のDFアレクサンダー・マドロンと、ウィンターブレイク中に素晴らしいパフォーマンスを見せたMFマーロン・リッターがスターティングメンバー入りし、キックオフを迎えた。

試合は5分、エースFWロウヴェン・ヘニングスのファーストシュートで幕を開ける。しかし14分、ゴールは逆サイドに生まれることに。ロングボールのこぼれ球を拾われると、相手FWが反転しながらシュート。するとボールはフォルトゥナゴールに吸い込まれ、先制点を奪われてしまう。これに対し反撃を試みたフォルトゥナも26分、リッターが遠目から狙ったが、これは大きくゴールマウスを超えていく。その後は相手ゴール前までボールを運べない展開が続き、1点ビハインドでハーフタイムを迎えることとなった。

攻撃のバリエーションが少なかったフォルトゥナは、後半に向けてFWエマニュエル・イヨハを投入する。するとアクセントが生まれ、イヨハを中心にチャンスを作る展開

となる。62分にはそのイヨハからのパスを受けたDFルーカス・シュミッツが強烈なシュートを放つも、これは相手ゴールポストを直撃し、同点ゴールには至らない。その後は両チームに決定機が次々に訪れるも、75分、86分に追加点を挙げたザントハウゼンに対し、最後までチャンスを活かせなかったフォルトゥナは、この試合を0-3で落とすこととなった。

前節から2つのポジション変更を行ったフリードヘルム・フンケル監督は、出場停止明けのDFケヴィン・アクポグマをディフェンスラインに戻し、またアフリカ杯から戻ったMFイラス・ベブーもスターティングメンバー入りし、アウェーにて強敵シュツットガルト戦のキックオフを迎えた。

試合は立ち上がり、フォルトゥナが積極的に中盤でボールを支配し、相手陣内に攻め込んでいく。しかし9分、シュツットガルトの素早いカウンター攻撃を受け、最後は日本代表のFW浅野拓磨にシュートを許すと、13分にはFWジモン・テローデに豪快なヘディングシュートを決められ、先制点を奪われてしまう。さらにその7分後の20分には、MFユリアン・グリーンの技ありのシュートがフォルトゥナゴールネットを揺らし、リードを2点に広げられる苦しい展開となってしまう。その後も攻撃の糸口を見いだせないフォルトゥナは、2点ビハインドのまま、前半終了を迎えることに。

後半に入ってもシュツットガルトの攻勢が続くと、浅野、MFクリスチャン・ゲントナー、テローデが次々にフォルトゥナゴールに迫る。それでもこの攻撃を凌ぐと、後半に途中投入されたMFジェロム・キーゼヴェッターとイヨハが徐々にチャンスを作り始める。83分にはそのイヨハが相手ディフェンスラインの裏へ抜け出し、決定的なシュートを放つも、ボールは僅かに相手ゴール脇を抜け、反撃の狼煙を上げることができない。そして試合はそのまま0-2でタイムアップとなってしまった。

今冬の移籍情報

Winter-Neuzugänge 2017

アンドレ・ホフマン
Andre Hoffmann

グルカン・ギュル
Gökhan Gül

フォルトゥナは2017年のウィンターブレイク中に、新しくDFグルカン・ギュルとDFアンドレ・ホフマンを獲得した一方、DFユリアン・コッホがハンガリー1部クラブへ完全移籍をすることとなった。また若手FWのマイキー・ンゴンボとケマール・ルツガーは、シーズン終了までレンタル移籍となり、それぞれ出場経験を積むことになる。

今年の冬、ディフェンス陣の補強に注力したフォルトゥナは、まずVfLボーフムからドイツU19代表のグルカン・ギュル(18歳)を完全移籍で獲得。身長こそ180cmと高くはないが、確かな技術を兼ね備え、ディフェンスの多くのポジションをこなすことができる。また、ハノーファー96からの新加入となったアンドレ・ホフマン(23歳)は、まずは今シーズン終了まではレンタルでの加入となるが、来季以降の完全移籍に関してもすでに合意に至っている。ホフマンは23歳という若さながら、ブンデスリーガ1部・2部で84試合に出場した経験を持ち、チームにディフェンス面に安定をもたらすことに期待がかかる。

その一方、2015年夏よりフォルトゥナでプレーしてきたユリアン・コッホが、ハンガリー1部リーグ所属のフェレンツヴァーロシュTGへ完全移籍することとなったほか、マイキー・ンゴンボがミルトン・キーンズ・ドンズFC(イングランド3部)へ、またケマール・ルツガーはVfLオスナブリュック(ドイツ3部)へ、それぞれ出場機会を求めてシーズン終了までのレンタル移籍となっている。

バイエルンに0-0の末、PKで惜敗。

Fortuna erkämpft gegen die Bayern ein 0:0

2017年1月14日(土)、ESPRITアリーナで開催されたテレコムカップ2017に参戦したフォルトゥナは、今季のチャンピオンズリーグ出場2クラブを相手に、素晴らしい戦いを披露した。第1試合でFCバイエルン・ミュンヘンとスコアレスドローの末に敗れたフォルトゥナは、3位決定戦でボルシア・メンヒェングラッドバッハを相手に2-0の勝利を収めた。なお、同大会は決勝戦で1.FSVマインツ05に2-1で勝利したバイエルンが優勝を飾り、幕を閉じた。

41244人が来場したテレコムカップ2017の初戦、フンケル監督は、バイエルンを相手に新システムのスリーバックを試すことに。すると開始から4分、まずはフォルトゥナが素晴らしい攻撃を見せる。MFオリバー・フィンクとDFユリアン・シャウエルテを経由したボールを受けたMFカーン・アイハンが、右足で強烈なシュート。しかしボールは僅かにバイエルンゴール脇を抜けていく。“レコードマイスター”も7分、MFフランク・リベリーがファーストシュートでフォルトゥナゴールへ迫るも、これはマドロンが跳ね返す。さらに15分、25分には、MFアルトゥーロ・ビダルが決定機を得るも、これはゴールバーと守護神GKミヒャエル・レンジングのファインセーブで難を逃れることに。これに対しフォルトゥナも34分、ダイレクトパスからヘニングスがフリーで抜け出し、強烈なシュートを放つ。しかしこれは世界最高GKのマニュエル・ノイヤーが立ちはだかり、ゴールには至らない。

ここからバイエルンが怒涛の攻撃を仕掛け始めると、36分にはMFドウグラス・コスタが、また39分には再びリベリーが至近距離からシュートチャンスを掴む。しかしこれらもレンジングの好セーブやゴールポストに助けられ、失点は許さない。すると試合終了間際には、再びフォルトゥナにビッグチャンスが訪れる。MFアダム・ボッツェックが左サイドに大きく展開すると、これを受けたシュミッツがサイドを駆け上がり、中央へ鋭いクロスを送る。しかしバイエルンも必死のディフェンスを見せ、中央に走り込んだアイハンには僅かに届かず。そしてそのまま試合はタイムアップとなり、勝敗はPK戦へともつれ込むことに。なおPK戦は、ノイヤーの前に2人が失敗したフォルトゥナに対し、4人まで全てが決めたバイエルンが勝利し、フォルトゥナは3位決定戦へ回ることとなった。

ボルシアMGに2-0で完勝。

Ayhan und Iyoha sichern Fortuna Platz drei

ボルシアMGとの3位決定戦に挑むこととなったフンケル監督は、フォーメーションのシステムを変更し、4-1-4-1を採用することに。またバイエルン戦から2選手が入れ替わり、リッターとイヨハがスターティングメンバー入りし、キックオフを迎えた。

するこの試合でもフォルトゥナが立ち上がりから積極的な攻撃を見せる。まずは2分、アイハンのコーナーキックからフィンクがヘディングで相手GKトビアス・ジッペルを試すと、その1分後にはカウンター攻撃から、最後はアイハンがリッターのパスをダイレクトで蹴り込み、幸先良く先制点を記録する。さらに7分には、左サイドをフリーで駆け上がったシュミッツが中央へ完璧なセンタリングを送ると、これを受けたイヨハが、一度はジッペルに弾かれながら、こぼれ球をしっかりと押し込み、点差を2点に広げることに成功する。

フォルトゥナのヤングスターは25分にもスルーパスに抜け出すと、相手GKとの1対1を迎える。しかしこれは惜しくもにジッペルに軍配が上がり、この日の自身2点目を奪うことは叶わない。さらに攻勢に出るフォルトゥナは29分、左サイドでアイハンとリッターが素晴らしいコンビネーションを見せ、相手ディフェンス陣を翻弄すると、最後はリッターが中央へ絶妙のセンタリング。これを途中投入されたキーゼヴェッターが合わせるも、シュートはゴールライン1mのところでジッペルのファインセーブに阻まれ、追加点を挙げるには至らない。

試合は終盤に差し掛かり、ボルシアMGも徐々にフォルトゥナ陣内へ攻め込み始める。38分にはコーナーキックからヘディングシュートで決定機を作られるも、これはギリギリのところでMFアクセル・ベリングハウゼンが弾き出し、失点は免れる。そしてその後は両チームともに好機を作ることはできず、試合はそのまま2-0でタイムアップ。これによりフォルトゥナは、同大会を3位で終えることとなった。

なお、フォルトゥナに勝利し決勝に進出したバイエルンは、2回戦でボルシアMGに勝利した日本代表FW武藤嘉紀擁するマインツと対戦し、リベリーとDFハビ・マルティネスの得点で2-1の勝利を収めた。これによりテレコムカップ2017は、バイエルンの優勝で幕を閉じることとなった。

JONGEN
BODZEK

vs. ALONSO

ロビン・ボアムート
32 / ROBIN BORMUTH

ロビン・ボァムート Robin Bormuth

今シーズン、著しい成長を見せているフォルトゥナユースアカデミー出身DFのロビン・ボァムート。U19チーム、U23チームを経てトップチーム昇格を勝ち取り、今季はチームの中心選手の1人としてプレーする21歳が、これまでの自分の歩みを振り返ってくれた。

まずは今シーズンのチームの状況はどう？

前半戦に関しては、多くのポジティブなことがあったと思うよ。(勝敗に関して言えば)ネガティブなこともあったけど、しっかりと結果を出すこともできていたし、トータルとしてよかったんじゃないかな。後半戦は、ボクたちが想像していたものとは違う形でのスタートとなってしまったけど(ザントハウゼンに0-3)、それについてはしっかりと修正していければいいかな。

2013年にフォルトゥナU19に加入したわけだけど、その理由は？

ボクはフォルトゥナが長期的なプランをしっかりと示してくれたこと、そして学校などのケアも充実していたこともあって、2013年にダルムシュタットU19からここへ移ることを決めたんだ。今ではすっかりここの生活を気に入っているし、正しい選択をしたと思っているよ。

フォルトゥナはロビンにとってどういう存在かな。

もうこのクラブで4シーズンを過ごしているわけだし、何よりもプロサッカー選手としてのファーストステップを踏んだクラブだからね。ボクにとっては特別なクラブだよ。

今季はすでに何試合もスタメン出場しているね。プロとしてのファーストシーズンをどう感じてるかな。

正直シーズンスタート当初は、こんなに試合に出られるとは思っていなかったかな。でも監督から大きな信頼をしてもらえるようになっていることは、素直に嬉しいことだね。ただ、もっと成長しなくちゃいけないし、もっと成長できればいいなと思っているよ。

ブンデス2部で公式戦デビューしたときはどんな感覚だった？

そりゃもちろん最高の気分だったよ。試合前は少しナーバスだったけどね。でもそれは試合が始まってからはもう感じなかったかな。とにかく、監督がボクを信用してチャンスをくれたことが嬉しかったし、それに応えることができてよかったよ。

初ゴールを決めたときはどうだったかな？

ボクは滅多に得点を決められるポジションじゃないだけに、やはり特別な感覚だったよ。それが試合に出られるようになってあんなにすぐに訪れたわけだしね。チームにとっても大事なゴールだったのは、なお嬉しいよね。

経験豊富なベテランのDFアレクサンダー・マドロンの存在は大きい？

もちろん。彼と一緒にプレーすることで多くのことを学んでいるよ。試合でも練習でも多くのアドバイスをくれているし、それらはボクにとって間違いなくとても大事なものだよね。

今シーズンの後半戦に期待していることは？

チームとしてさらにポジティブな成長を望んでいるし、個人的には怪我なく、そしてさらなる成長をしていければいいなと思っているかな。

すでに2020年まで契約を延長したわけだけど、それは何を意味するのかな。

まずクラブがボクが続けてきたことを評価してくれたということだと思うし、それは素直に嬉しく思っているよ。これからもこのクラブでサッカーに集中することができることをとても有り難く思うね。

将来的な目標や夢は？

できるだけ多く試合に出場し、フォルトゥナとともに可能な限り成長していきたいね。それ以上のことは、今はまだ(言わなくても)いいかな。

では、少し日本についての質問になるけど、これまでになにか日本との経験はあるかな？

U19チーム所属のときに日本高校選抜と対戦したことがあるね。それからカーニバルのときに仮装した日本人をたくさん見たことがあるね。あとは、ボクは日本のアニメや漫画が大好きで、ワンピースやドラゴンボールは毎週チェックしているよ。

日本食は好きかな？

アジア料理は基本的に何でも好きだね。毎日じゃないけど、週に1回は食べてるし、なんでもトライしてみたいなって思うよ。

最後に日本人のファンへ。

フォルトゥナは(日本人にとっては)外国のクラブになるわけだけど、このデュッセルドルフにたくさんの日本のファンがいることはすごいことだし、誇りに思うよ。これからももっと多くの方が、アリーナに足を運んでもらえると嬉しいね。

Robin Bormuth

- 背番号：32
- 生年月日：1995年9月19日
- 身長：190cm
- 体重：78kg
- 国籍：ドイツ
- 加入年：2013年
- 出身地：グロース・ロールハイム
- 現住地：デュッセルドルフ

マルタキャンプ 2017

Winter-Trainingslager 2017 auf Malta

2017年のフォルトゥナは1月4日に始動し、早速翌日にはウィンターキャンプのため、地中海に浮かぶマルタ島に向かった。7日間に及んだキャンプでは、新加入2選手を含めて集中したトレーニングを行っただけでなく、2試合のテストマッチも実施した。

2016/17シーズンの前半戦を8位で折り返したフンケル監督は、後半戦に向けて新たに2人のセンターバックを獲得し、この冬のキャンプ地となったマルタ島へ向けて旅立った。キャンプ中は新システムとなるスリーバックのトレーニングを積極的に行い、チームへの新しいオプション導入に注力した。同時期にマルタ島でキャンプを行っていたルーマニア1部リーグ所属のCSウニヴェルシタテア・クラヨーヴァとテストマッチでは、早速新加入のホフマンとギュルがフォルトゥナでのデビューを果たし、好パフォーマンスを披露した。

また同キャンプ中には、マルタ1部リーグに所属するヒバーニアンズFCとも対戦し、この試合では長期離脱をしていたキャプテンのフィンクが復帰を果たしただけでなく、すべての選手がプレー機会を得たことで、フンケル監督にとっては、後半に向けて選手たちの状態をしっかりとチェックする良い機会となった。なお指揮官は、「選手たちがすべてのトレーニングに全力で取り組んでくれたことにとても満足している。数選手にはこのキャンプを通じて気付いたことを伝えていくつもりだ」とキャンプを総括している。

F95 1-1 CS U Craiova

マルタキャンプ3日目、CSウニヴェルシタテア・クラヨーヴァ(ルーマニア1部)と2017年最初のテストマッチを実施したフォルトゥナは、このキャンプで取り組んでいるスリーバックを実践でも試すため、新加入のホフマン、マドロン、ボァムートの3人をディフェンスラインに配置し、キックオフを迎えた。

すると試合は、キックオフからフォルトゥナがペースを握る展開に。約100人のサポーターが見守る中、6分にはイヨハがこの日最初のシュートを放つ。その後も相手陣内でプレーを続けると、新しいシステムであるスリーバックからのビルドアップも機能し、フォルトゥナの攻勢が続いていく。そして23分、相手のボールを奪ったMFクリスチャン・ガートナーが素早くリッターへパスを繋ぐと、最後はイヨハが落ち着いて決めて先制ゴールを奪うことに成功する。リードを奪ったフォルトゥナは、その後もイヨハやアイハンが続けざまに追加点のチャンスを得るも、追加点は奪えないまま、ハーフタイムを迎えることとなった。

後半に入り、GK以外の10選手を入れ替えたフンケル監督。これによりホフマンに続いてのギュルも、フォルトゥナでの初の出場を果たすことになったほか、MF金城ジャスティン俊樹も後半からピッチに登場した。しかし後半はまず、ディフェンスに奔走することになる。54分には相手に決定的なシーンを作られるも、これはゴールポストに助けられることに。その後は両チームともシュートシーンを作れなかったが、70分にはルツガーが決定的なシュートを放つ。しかし相手GKのファインセーブに阻まれると、逆に78分に失点を喫してしまう展開に。その後は再び決定力を欠いた展開が続き、試合はそのまま1-1でタイムアップの笛となった。

Hibernians FC 1-1 F95

約1週間に渡って行われたマルタキャンプ最終日はヒバーニアンズFCとのテストマッチとなったが、フンケル監督はこの試合でもスリーバックを試すことに。この日はリハビリから復帰したフィンクと、風邪のために離脱していたヘニングスがメンバー入りして、キックオフとなった。

試合はキャンプ最終日の疲れが見えるフォルトゥナイレブンに対し、相手が11分と23分にシュートチャンスを掴む立ち上がりに。それでも失点は許さないと、25分にはコッホのセンタリングに、ヘニングスが頭で合わせて見事な先制ゴールを記録する。ところがその2分後、一瞬の隙を突かれて同点ゴールを奪われ、試合は再び振出しに戻ってしまう。その後もヘニングスのシュートがクロスバーを直撃するなど、惜しいシーンこそ作るものの、追加点は生まれないまま、前半は終了となった。

後半に入り、再び10選手を交代させたフォルトゥナだったが、なかなかフィニッシュの精度を見せることができない。61分にMFタイラン・ドゥマンがドリブルからシュートを狙うと(62分)、その後もンゴンボが続けざまにシュート(63分)。さらに81分にはキーゼヴェッター、87分には再びンゴンボが勝ち越しゴールのチャンスを得るも、いずれもゴールを決めることができない。そしてこの試合も1-1のままタイムアップとなり、今年のウィンターキャンプを締めくくることとなった。

橋本峻弥 SHUNYA HASHIMOTO

Shunya Hashimoto

- **生年月日**:1995年08月14日
- **身長/体重**:173cm/74kg
- **ポジション**:FW
- **出身地**:神奈川県
- **所属**:FC厚木Jr.、青森山田高、桐蔭横浜大、SCウェスト

ドイツ4部リーグに所属するフォルトゥナU23チームは、この冬に3人の新加入選手を獲得した。ヴァッタンシャイト(同ドイツ4部リーグ)からDFマルテ・ベラウアーを、またバンクーバー・ホワイトキャップスからカナダA代表のMFキアンツ・フローセを獲得したほか、SCウェスト(ドイツ5部リーグ)からは日本人FWの橋本峻弥(21歳)が新加入することになった。

橋本は神奈川県で生まれ育ち、中学生時代にはFC厚木ジュニアユースでプレーしたのちに、青森山田高校へ進学。1年次からメンバー入りを果たすと、2年次・3年次には全国高校選手権大会に出場し、ベスト16進出に貢献するなどの活躍を見せた。高校卒業後は横浜桐蔭大学に進学し、関東大学リーグ1部でプレーをしていたが、大学2年次の冬に渡独を決意。デュッセルドルフに降り立ったのち、ドイツ5部リーグ所属のSCウェストに加入し、プレーしていた。同クラブでは1年間で12得点を挙げるなど、着実に結果を出していたことが評価され、練習参加を経てフォルトゥナU23へ新加入することが決定した。

「高校のころから海外でプレーしたいと思っていた。大学進学後、関東大学リーグでプレーさせてもらっていたが、やはり海外に挑戦したいという思いが強くなって。行くなら早い方がいいと思い、休学を決断。知り合いのつてを探して、渡独した」という橋本は、2015年冬にアマチュアサッカー選手としての海外生活をスタートさせた。「(今までプレーしていた)5部リーグは、大学時代に比べると若干レベルは落ちたが、公式戦になったときのドイツ人たちのスイッチの入りように最初は驚いた。技術云々ではなく、とにかく激しさや強さを感じた」という環境で、しっかりと得点という結果を出し続け、次の扉を開くことになった。

「(フォルトゥナU23に)テスト参加することになり、練習試合にも出場しましたが、1つリーグが上がるだけで、こんなにもレベルが違うんだ、と思った」と、正直な感想を口にする橋本だが、ハノファーU23とのテストマッチでいきなり得点を決めると、その後も4試合でゴールを決めるなど、安定したパフォーマンスを披露。そしてそれが評価され、2018年6月30日までの1年半契約を勝ち取った。

橋本の加入により、現在ドイツ4部リーグで残留争いを戦うU23チームの得点力が上がることが期待されている。「ここでまた結果を出し、次のステップを上がりたい」という橋本に、是非とも注目していただきたい。

モンテディオ山形の育成コーチが研修に。

Einjährige Trainerfortbildung für Jugendcoach aus der J League

フォルトゥナは昨年9月、Jリーグアカデミーダイレクター研修を実施したが、これに続いて今年は、JJPプログラムの一環として派遣されたアカデミーコーチを、2月からの約11ヶ月の間、研修として受け入れることとなった。この派遣コーチとして、モンテディオ山形アカデミー所属の中村亮太氏(31歳)が来独し、すでにフォルトゥナで研修をスタートさせている。

Jリーグと日本サッカー協会(以下JFA)は、協働で行っているJFA・Jリーグ協働プログラム(以下JJP)の取り組みの一環として、モンテディオ山形のアカデミーコーチである中村亮太氏を、フォルトゥナへ派遣することを決定した。この指導者派遣は、将来有望な人材を海外の育成トップレベルのクラブで研修することにより成長させ、その成果を再度日本国内で選手育成することにより、日本サッカーの育成発展に貢献することを目的としており、フォルトゥナがこのJJPの取り組みに賛同し、派遣コーチを受け入れを引き受けた形となる。

早速2月上旬に来独した中村氏は、ルーテミュラースポーツ役員の歓迎を受けた後、ユースアカデミーで研修活動をスタート。まずはU17チームに帯同し、今シーズンの後半戦を戦っていくことになる。なおアカデミー所属チームでは、アペルカンプ真大(U17)、伊藤遼哉(U19)、橋本峻弥(U23)の3人の日本人選手がプレーしており、中村氏は各選手らともコミュニケーションを取りながら、ドイツ人らの中で研修を行っていくことになる。

CLASEN GmbH
ihr printmedienpartner in düsseldorf

offset cmyk dtp proof schmuckfarben photoshop fünf+lack FSC illustrator prepress scannen bogen falzen kreuzbruch nuten einfarbig indesign vierfarbig kleben quark klimaneutral retusche klammern ctp andruck zickzackfalz digitaldruck

Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause

spielberger weg 66 • 40474 düsseldorf • fon 0211-447290-0 • fax 0211-447290-60 • mail@druckerei-clasen.de
Ihr Nr. 1-Partner für Werbeagenturen + Industriekunden

HITACHI
Inspire the Next

WITH AI, THE FUTURE IS OPEN TO SUGGESTIONS

未来は、オープンだ。アイデアで変えられる。

人類はさまざまな道具を使い、くらしを豊かにしてきました。
そして今、日立のAI(人工知能)という道具を手にすることで、
ビジネスが生まれ変わります。すでに多くの分野で成果をあげ、
生産性の向上やコスト削減、組織の活性化を実現しています。
人が思いもよらない解決策で、設定した目的を達成する。
そんな日立のAIを活用すれば、可能性はどこまでも広がります。

social-innovation.hitachi

Hitachi Social Innovation